

# 赤ちゃんの健康

## 出生順位では43%が第1子！

図 1

全国の統計では、昭和20年代に第3子以上が全出生数の40%以上を占め、次いで第2子、第1子でしたが、その後第3子以上の割合が急激に減少して昭和50年には、第1子、第2子、第3子以上の順になりました。都留市でも今は第1子がいちばん多く、全国とはほぼ同様の率となっています。

## 地区別では、禾生地区の出生が多い

図 2

1位～3位の順位はグラフの通りです。次いで開地、上谷、三吉と盛里、宝の順になっています。

## 出生体重は男の子の方が少し大きい

表 1

わずかですが男の子の方が出生体重は多いのですが、これは全国的に以前から言えることです。

男女別に全国と比較すると、男の子は全国平均より小さめ、女の子は大きめです。

## 4ヵ月、7ヵ月児相談には約9割が受診

図 3

4ヵ月児相談には92.5%、7ヵ月児相談には89.9%が受診しています。市の相談や、乳児一般健康診査の制度等を上手に活用して順調に発育発達しているかチェックをしましょう。

## 4ヵ月相談での相談希望内容は、栄養、皮膚のトラブルについてが多い

表 2

乳児相談に来所する際に相談したいことを問診票に記入する様になっていますが、それによると、ミルクの量や離乳の始め方、果汁のあげ方、哺乳びんぐらい等の栄養面の相談が多いです。次いで湿疹、カサカサ、アトピー、皮膚が弱い等の皮膚についての相談になっています。

## 7ヵ月相談では栄養、発育・発達、育児面の相談が多い

やはり、栄養についての相談希望がいちばん多いのですが、その内容は離乳食の量や内容、夜中の授乳のこと、ミルクの量について等、次段階のものになっています。次いで、歯の萌出、体重増加などの発育発達に関することです。

その他、4ヵ月、7ヵ月とも育児面の相談が目立ちます。例えば4ヵ月では便の性状についてやオムツの当て方、食器の消毒のこと等、7ヵ月では、夜中にぐずる、指しゃぶり等です。子育てをする中で不安なことや話したいことはたくさんあると思います。これからも身近な相談者として市の保健婦を活用していただきたいと思います。



## 出生

### 出生数

男の子が多い

|     |      |
|-----|------|
| 男の子 | 180人 |
| 女の子 | 166人 |
| 計   | 346人 |

### 出生時体重(平均)

表 1

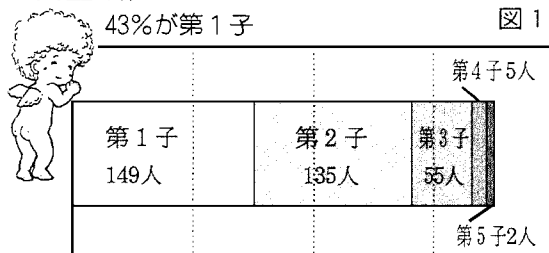
男の子の方が少し大きい

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
|       | 男     | 女     |
| 全 国   | 3160g | 3050g |
| 都 留 市 | 3113g | 3077g |

### 出生順位

43%が第1子

図 1



### 地区別出生数

1位は禾生地区

図 2

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 第1位 | 禾 生 | 80人 |
| 第2位 | 東 桂 | 66人 |
| 第3位 | 下 谷 | 56人 |

### 相談したいこと

栄養についてが多い 表 2

| 順位<br>健診    | 第 1 位         | 第 2 位            | 第 3 位          |
|-------------|---------------|------------------|----------------|
| 4<br>カ<br>月 | 栄養<br>47件<br> | 皮膚<br>39件<br>    | 育児面<br>31件<br> |
| 7<br>カ<br>月 | 栄養<br>23件<br> | 発育・発達<br>14件<br> | 育児面<br>14件<br> |

### 乳児相談受診率

図 3

(平成4年度)

